

RYOBI®

エンジンヘッジトリマ

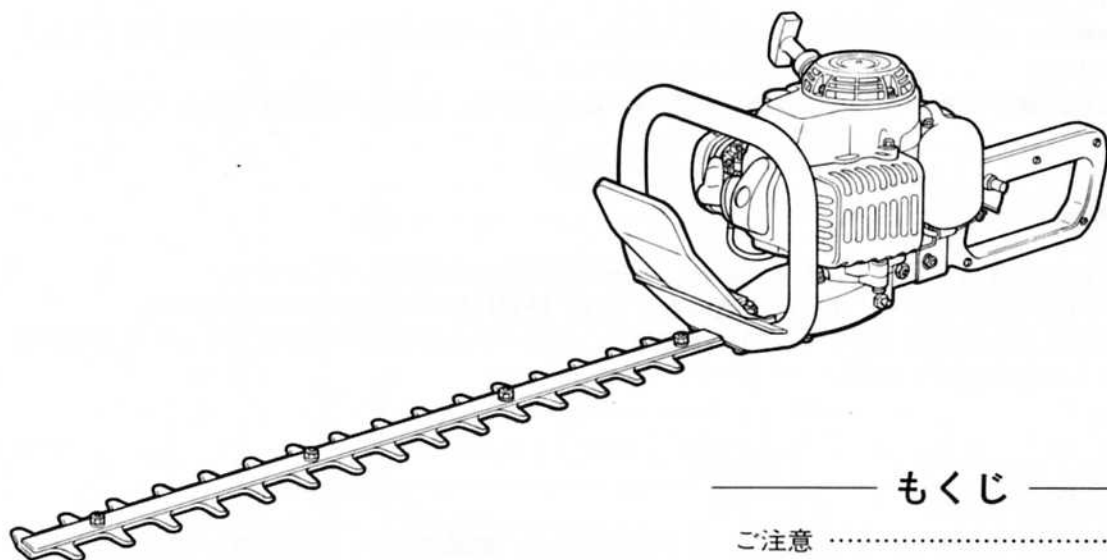
EH-401

EH-500

取扱説明書

このたびは、リョービエンジンヘッジトリマをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管いただき、わからないときは、再度お読みください。



もくじ

ご注意	1
各部のなまえ、仕様、付属品 ...	2
始動	3~5
運転、停止	6
使用方法	7
点検と整備	8~10
保管	10
故障なかとと思ったら	11

●改良のため、お断りなく仕様、外観を変更することがあります。

ご注意

お使いになるときは、事故や器具の故障を防ぐために、次のことは必ずお守りください。

ご使用前は

- 服装はすそじまりのよいものにしてください。保護メガネを使用し、防振性のある手袋をはめてください。
- 子供や説明を受けていない人には、使用させないでください。
- 疲労時や病気のとき、また飲酒によるアルコールなどの影響が出ているときには、使用しないでください。
- 換気の悪い場所や建物の中では、絶対にエンジンを始動、運転しないでください。排気ガスを吸うと、体に悪影響をおよぼす恐れがあります。
- 作業する生垣や芝生などに、針金などの異物がないか確認し、ある場合は取り除いてください。刃物に噛み込み、破損する恐れがあります。

ご使用中は

- 両手でハンドルをしっかり握り、安定した体勢で、体から離して作業してください。
- 始動したり運転したりするときは、周囲に人や障害物がないことを確認してから作業してください。
- 動いている刃物に不用意に手でさわったり、身体や衣服を近づけないでください。
- 作業を中止したり移動するときは、必ずエンジンを停止させてください。
- 刃物に枝などが噛み込んで、刃物が止まった場合は、必ずエンジンを停止させてから取り除いてください。
- 作業中、刃物を無理に押しついたり、曲げたりしないでください。刃物が破損することがあります。
- 製品の調子が悪かったり、異常に気がついたときには、ただちに使用を中止してください。

燃料について

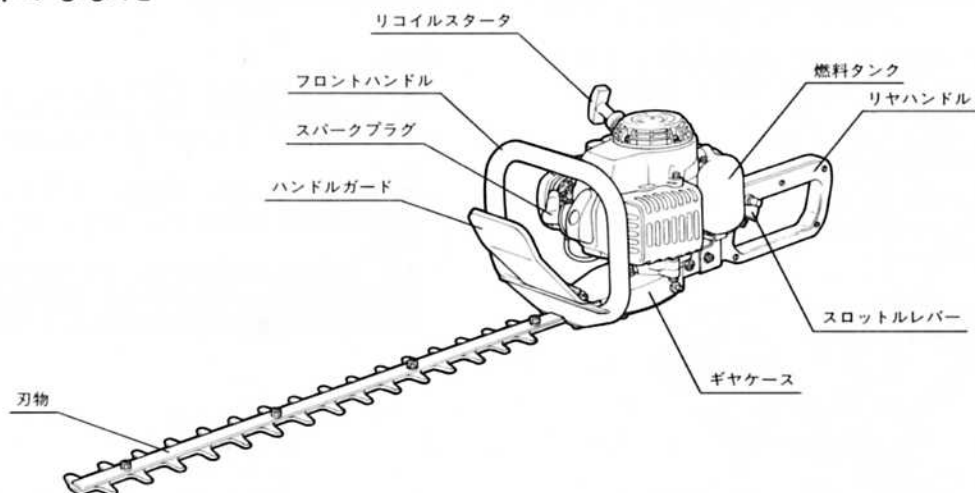
- 燃料補給は必ずエンジンを停止させ、十分に冷えてから補給してください。
- タバコを吸いながら、または火気の近くでは、絶対に燃料補給しないでください。
- 燃料は正しい比率（ガソリン20～25に対し、2サイクル専用エンジンオイル1）で混合させたものをお使いください。

ご使用後は

- 機械全体を清掃し、オイル漏れ、ネジ類のゆるみ、部品の破損、摩耗がないかの点検をしてください。
- 長期保管する場合は、燃料タンク、キャブレタのガソリンを抜いてください。
- 補用部品はすべて指定の純正部品をお使いください。

各部のなまえ、仕様、付属品

●各部のなまえ



●仕様

型 式			EH-401	EH-500	
寸 法	長さ×幅×高さ	mm	857×228×225	1000×228×225	
重 量		kg	4.49	4.73	
エンジン	形 式		空冷2サイクル単シリンダ		
	排 気 量	cc	20.1		
	最 大 出 力	PS	1.0		
	キャブレタ		ダイヤフラム式		
	点 火 方 式		電子点火方式、フライホイールマグネット		
	スパークプラグ		NGK BM-6A		
燃 料	始 動 方 法		リコイルスタータ		
	混 合 比		20~25(ガソリン) : 1 (2サイクル専用エンジンオイル)		
	タンク容量	ℓ	0.4		
駆 動 部	刈 込 幅	mm	385	525	
	刃 数	上 刃	数	11	15
		下 刃	数	11	15
	刃 駆 動		両刃駆動式		
	ストローク量	mm	片側17.5		
減 速 比		1 : 3.79			

※重量には燃料は含まれていません。

●通常付属品 (箱をあけましたら、以下のものがそろっているか、よくお確かめください。)

- 刃物カバー
- +ドライバー付ソケット
- 燃料混合器
- 取扱説明書

始動

〈ご注意〉

エンジン始動と同時に刃物が動き出しますので、安全を十分に確かめてから始動してください。

- 燃料は正しい比率(ガソリン20~25に対し、2サイクル専用エンジンオイル1)で混合させた燃料をご使用ください。

混合燃料の作り方

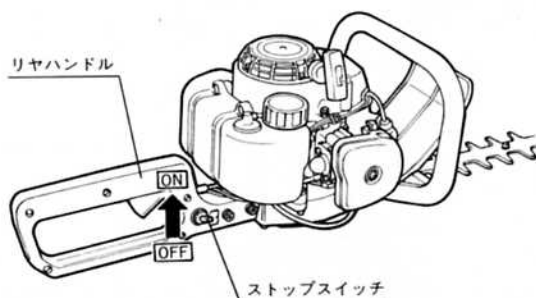
- 付属の混合容器の①の線までガソリンを、②の線まで2サイクル専用エンジンオイルを入れた後、よく振って作ります。



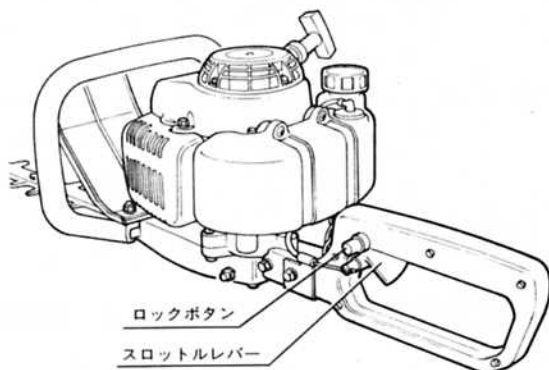
〈ご注意〉

- 2サイクル専用エンジンオイル以外のオイル、および20~25:1以外の燃料は、絶対に使用しないでください。エンジン焼付き、またはエンジン不調の原因となります。
 - 購入後、2~3ヶ月以上経過した古い燃料は、エンジン不調の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- また、夏季などの高温下では、ガソリンが蒸発し、混合比が変わる恐れがありますので、混合燃料は1日の使用に見合った量を用意するようにしてください。

1. ストップスイッチを **ON** にしてください。

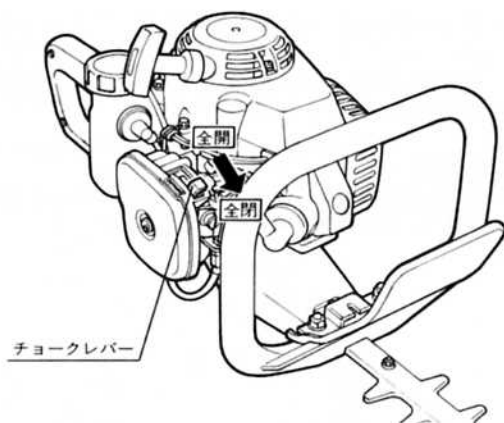


2. ロックボタンを押した状態で、スロットルレバーを徐々に引き、ロックボタンが入り込んだところで、スロットルレバーを放してください。ロックボタンは押し込まれたままの状態となります。スロットルレバーは少し引かれた状態で固定されることを確認してください。



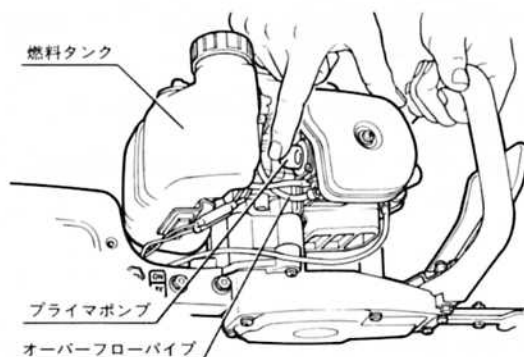
3. チョークレバーを全閉の位置(Ⅰ)にしてください。

※エンジンが暖まっているとき(停止後15分以内)
はチョークレバーの操作は不要です。



4. オーバーフローパイプ内の気泡がなくなるまで、
プライマポンプを十分押してください。(10回以上)
オーバーフローする燃料は、燃料タンクに戻る構
造になっているため、吸い込み過ぎの弊害はあり
ません。

※エンジンが暖まっているとき(停止後15分以内)
はプライマポンプの操作は不要です。

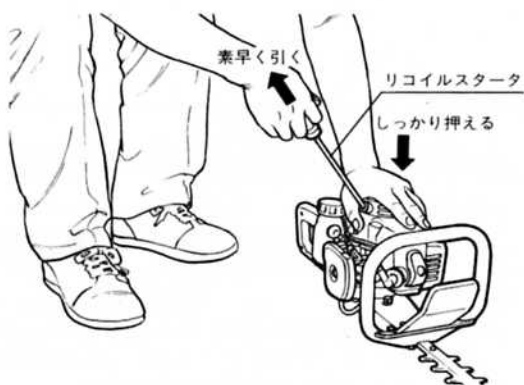


5. リコイルスタータ(ロープ)を最初の爆発音がする
まで素早く引いてください。

*ブルン*という爆発音がします。
(エンジンはすぐ止まります。)

〈ご注意〉

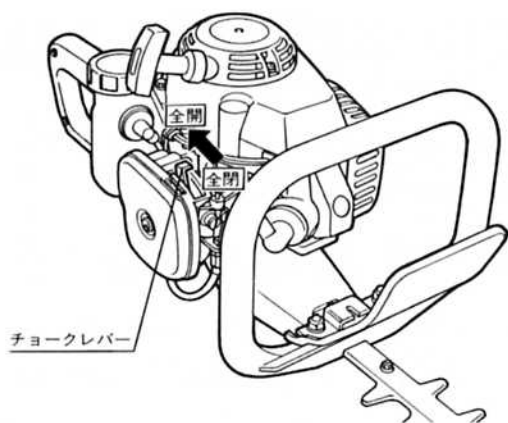
- ・エンジン始動時は、本機をしっかり押えてください。
- ・リコイルスタータのロープの全長を確認した後、全長の8割ぐらいで始動するように心がけてください。全部を引いてかけると、ロープを引きちぎる恐れがあります。



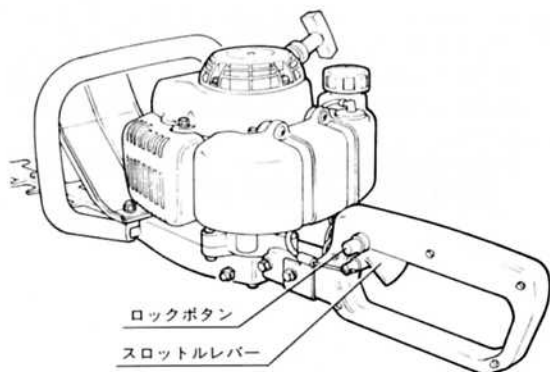
6. チョークレバーを全開の位置(全開)にしてください。
再度リコイルスタータ(ロープ)を引いて、エンジンを始動させてください。

〈ご注意〉

始動しない場合は、前頁3項(チョークレバーを全開)に戻り、再度操作を繰り返してください。



7. エンジンが始動したら、本機を持ち上げ、30秒くらい暖機運転をしてください。
8. その後、一度スロットルレバーを引き、放してください。
ロックボタンは解除され、エンジンは低速運転(アイドリング状態)となります。



●燃料の吸い込み過ぎについて

〈ご注意〉

エンジンが始動すると同時に高速で刃物が動き出します。直ちにスロットルレバーを戻し、回転を下げてください。

- 最初の爆発音を聞き逃がしたままで(チョークレバー全開)リコイルスタータ(ロープ)を何回も引くと、燃料の吸い込み過ぎとなります。この場合は、スロットルレバーを一杯に開き、チョークレバーも全開とした状態でリコイルスタータ(ロープ)をエンジンがかかるまで(10~15回くらい)素早く引いてください。

- マフラーから燃料が出てくるほどの大量の吸い込み過ぎの場合は、スロットルレバー、チョークレバーを全開とし、再度リコイルスタータ(ロープ)を約30~40回素早く引き、始動させます。

運 転

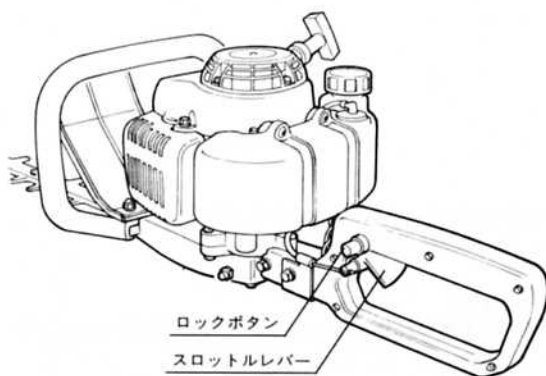
〈ご注意〉

- ・動いている刃物に不用意に手でさわったり、身体や衣服を近づけないでください。
 - ・作業を中断したり移動するときは、必ずエンジンを停止させてください。
 - ・刃物に枝などが噛み込んで、刃物が止まった場合は、必ずエンジンを停止させてからこれらのものを取り除いてください。
- エンジンが回っているときにこれらのものを取り除くと、不意に刃物が動き出すことがあります危険です。

1. 作業する前にスロットルレバーを少し引き、エンジン回転を上げ、刃物が動くことを確認してください。
2. 低速運転(アイドリング)から、スロットルレバーを徐々に引き、エンジンの回転を上げてゆきます。作業をするときは、必要以上に高速回転にせず、枝などが刈り込める程度の低目の回転で作業してください。

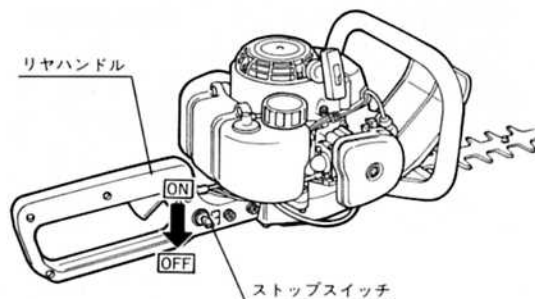
〈ご注意〉

- ・作業しないときは、中速以上の回転、および空ふかし(突然回転を上げることを)しないでください。故障の原因となります。
- ・製品の調子が悪かったり、異常に気がついたときには、ただちに作業を中止してください。



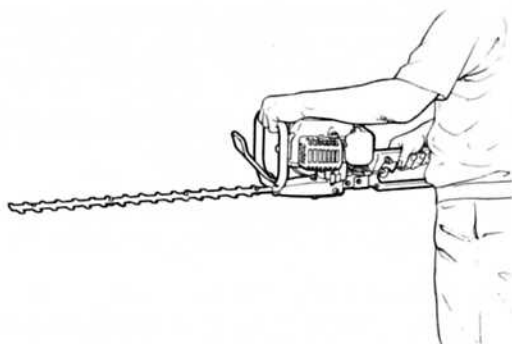
停 止

1. スロットルレバーを放し、低速運転(アイドリング)をしばらく続け、エンジンを冷やしてください。
2. ストップスイッチを **OFF** にしてください。



使用方法

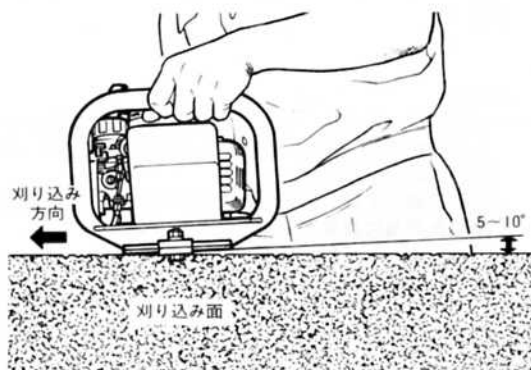
- 10mm以上の太い枝は、あらかじめノコギリやハサミなどで切っておいてください。
- ハンドルを両手でしっかり握り、安定した体勢で体から離して作業してください。



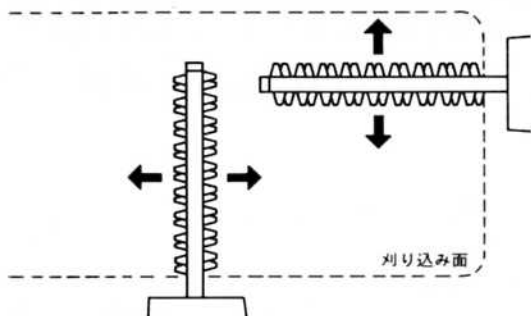
- 刃先を刈り込む方向に少し傾けると枝の導入がよく、きれいに刈り込めます。

〈ご注意〉

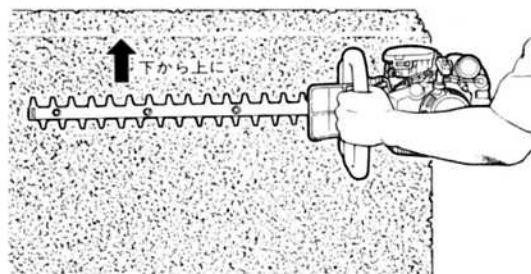
刃物を無理に押しついたり、曲げたりしないでください。



- 上面を刈る場合は、右から左(または左から右)へ移動させながら、刈り込んでください。立つ位置を変えるなどして、いろいろな方向から刈るときれいに仕上がります。



- 側面を刈るときは、下から上に向かって刈り込んでいくと、きれいに仕上がります。



点検と整備

お買い上げいただきましたヘッジトリマをいつまでも調子よく保つために、定期点検を行ってください。

点検項目	点検時間	作業前	作業後	25時間毎
刃物		○(点検)	○(清掃)	
キャブレタ		○(点検)		
エアクリーナ		○(点検)		
ギヤケース				○(注入)
スパークプラグ				○(点検)

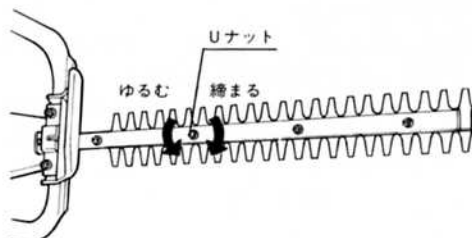
●刃物

●刃物の調整

〈ご注意〉

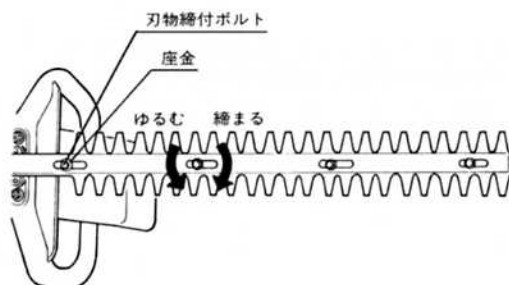
ボルトやナットを締めつけたり、緩めたりするとき、誤って手がすべり刃物でケガをする恐れがありますので、手袋を着用してください。

1. Uナットを緩めてください。



2. 刃物の裏側にある刃物締付ボルトを軽く締め込んだ状態から約 $\frac{1}{2}$ 回転もどしてください。

※手で座金を触って、ガタツキがなく、軽く動くように調整してください。



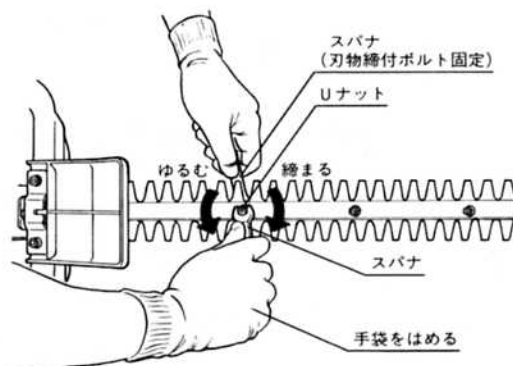
3. スパナで刃物締付ボルトが回らないよう固定し、別のスパナでUナットを締めつけてください。

※再度座金がガタツキなく、軽く動くかどうか確認してください。

締め過ぎたり、緩み過ぎたりしている場合は、再調整してください。

●締め過ぎ…エンジン回転を上げて刃物がゆっくり動くか、停止したままとなり、エンジンに負担がかかります。

●緩み過ぎ…刃物がガタツキ、切れ味が悪くなるとともに、振動の原因となります。



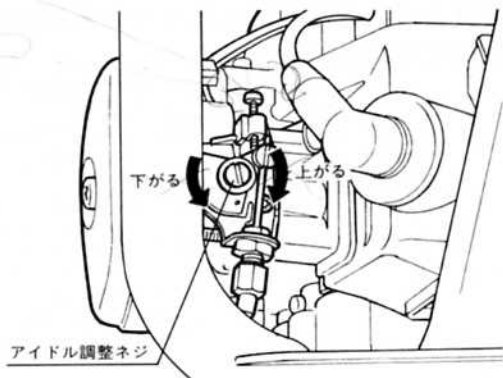
●キャブレタ

●アイドル調整ネジ

アイドル調整ネジを左右に回し、低速回転を調整してください。

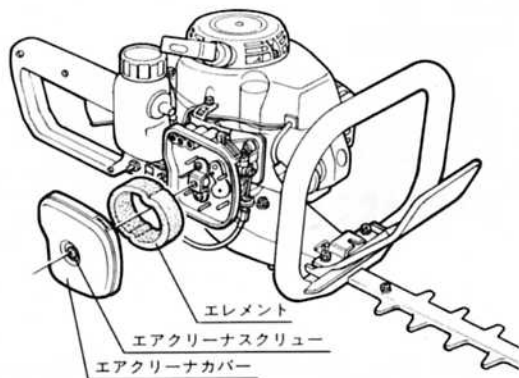
アイドル調整ネジは、右に回すと回転が上がリ、左に回すと回転が下がります。

刃物が動きはじめるやや前で、エンジンが停止しない状態としてください。

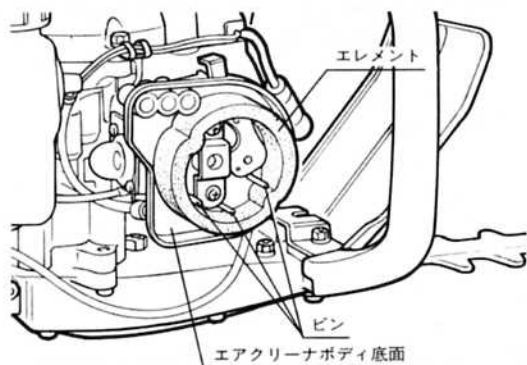


●エアクリーナ

1. エアクリーナスクリューを緩め、エアクリーナカバー、エレメントを取り出してください。
2. エレメントの汚れを点検をし、軽くゴミを払うか、汚れのひどいときはガソリンで洗い、乾いてから取り付けてください。

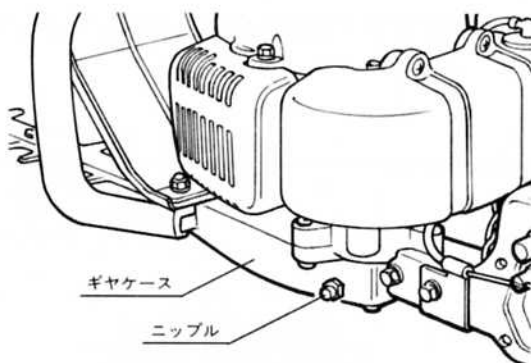


3. エレメントは、ピンの外側に添わせ、エアクリーナボディの底面に密着させて取り付けてください。



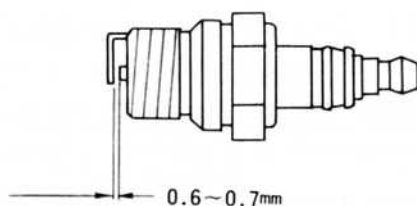
●ギヤケース

- ギヤケース内の潤滑は、グリスで行っています。ニップルをはずし、グリスポンプを使って、グリス(エッソ リスタン EP2)を注入してください。



●スパークプラグ

- スパークプラグの適正な電極間隔は、0.6～0.7mmです。常に適正な間隔を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して、清掃のうえご使用ください。(NGK BM-6Aをお使いください。)



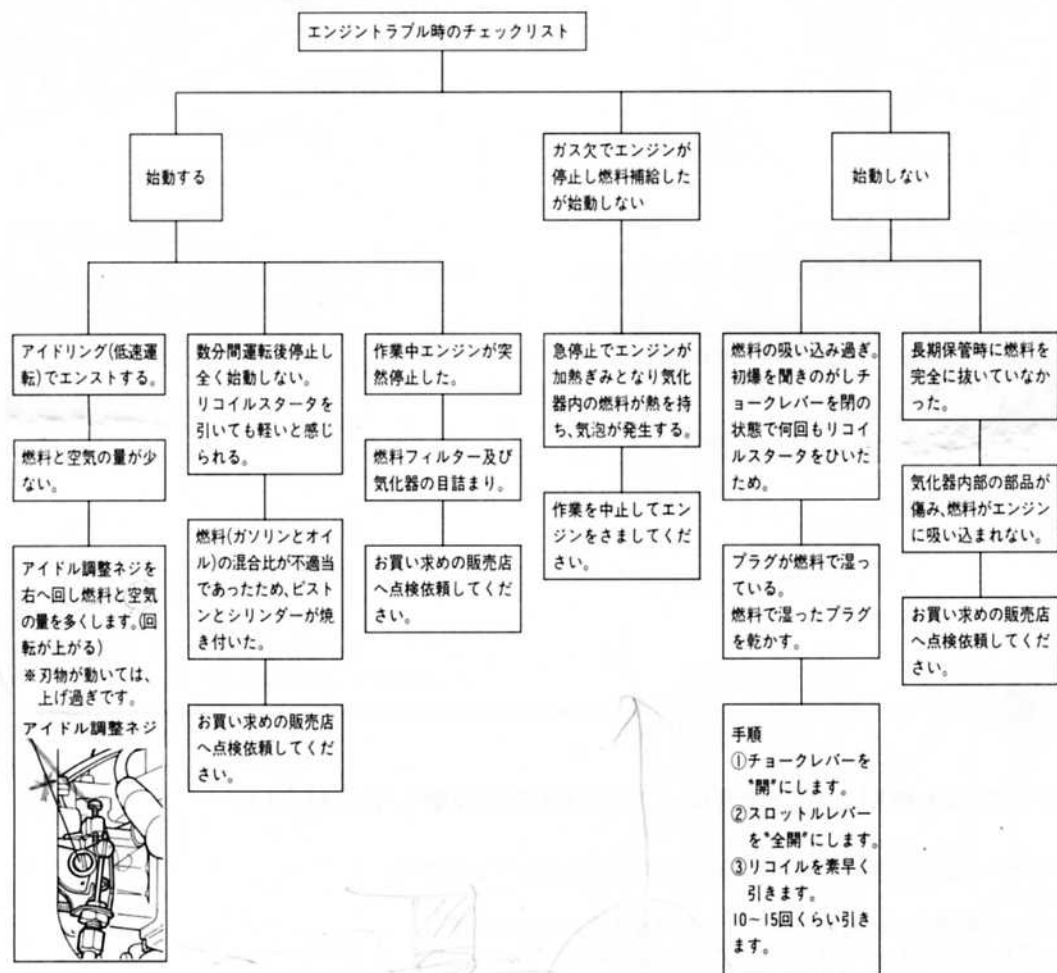
保管

本機を10日以上使用しない場合は、下記の方法で保管してください。

1. タンクキャップをはずし、タンク内に残った燃料を出してください。
2. エンジンを始動させ、自然にエンジンが停止するのを待ちます。(キャブレタ内に残った燃料を空にするためです。)
3. エアクリーナを清掃すると同時に、各部の汚れを取り除いてください。
4. 刃物への注油をしたのち、余分な油をふき取ってください。
5. エンジンが十分冷えていることを確認してから、直射日光のあたらない、湿気の少ない、冷暗所の安定したところで保管してください。(ほこりがかからないように、カバーなどをしておいてください。)

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。



発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社